

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年6月5日

【評価実施概要】

事業所番号	2771800980
法人名	医療法人 日新会
事業所名	ケアヴィレッジ九条グループホーム事業所ナイスホーム九条
所在地	大阪市西区九条1丁目21-24 (電話) 06-6582-5974
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 5月 19日

【情報提供票より】(平成 20年 3月 31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 7月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	19人	常勤	9人, 非常勤 10人, 常勤換算 16.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	7階建ての	5階 ~	6階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,000円	その他の経費(月額)	1,200円/1日	
敷金	有(円) ②			
保証金の有無 (入居一時金含む)	① (48,000円) 無	有りの場合 償却の有無	① / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,700円		

(4) 利用者の概要 (平成 20年 3月 31日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	1名	要介護4	6名		
要介護5	1名	要支援2	1名		
年齢	平均 82.8歳	最低	67歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医)日新会北堀江病院、社団)大阪済会病院、医)博友会北摂あいデンタルクリニック
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地下鉄九条駅から徒歩5分の商店街地域にあり、通院や散歩、買い物に便利で利用者はほぼ毎日スーパーに出かけています。利便性が良く、家族や友人にも尋ねやすいと喜ばれています。医療法人日新会が地域に密着したサービスを目指して取り組んでいます。グループホームは5階と6階にあり、1階は訪問介護、2階はデイサービス、3・4階は短期入所施設となっており様々な連携が見られます。グループホーム管理者は看護師であり医療面でも利用者は安心して過ごしています。7階屋上には菜園や花壇があり、野菜作りが盛んでジャガイモ、タマネギ、トマトが実り、水やりや収穫を楽しんでいます。地域交流もあり、月1回ふれあい喫茶のモーニングを楽しんだり、商店街での買い物時にも利用者に覚えてもらったりして挨拶を交わせる関係作りができています。食事は3食共ホームで調理し、配膳台も低めに設置して、利用者が手伝えるような配慮があります。お風呂はほぼ毎日沸かしており、1日おきに入浴できるよう支援しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価の課題については次のような改善が見られます。玄関脇には手作りの看板がかけられていました。馴染みの物が少ない部屋についても、家族に声をかけ少しずつ増やしています。水分摂取の記録についても記載されていました。また、1ヶ月のカロリー計算については施設の栄養士に計算してもらっています。服薬の支援についても2重チェックで確認しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義や目的を会議で共有し、自己評価については、ユニットごとの話し合いの場で取り上げて、具体的な内容についても意見を交換しています。管理者・リーダーでまとめ、作成して全職員に伝えています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議では、利用者の暮らしぶりや行事内容とその説明、また例えば体験実習の中学生が来訪した際に、利用者が生き生きされたことなど、日々のエピソードについても報告しています。委員の方より中央図書館内の福祉施設合同展示会の予定、区民祭りの情報、外出支援ボランティアの状況など幅広く情報を受けています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月の暮らしぶりや健康状態について「ナイスホーム通信」を発行しています。その際、職員からの手紙を添え、写真も送っています。金銭管理についても出納帳に領収書を付け、家族のサインももらっています。ホームの各階入口に意見箱を設置しています。家族の参加のもと毎年忘年会を実施し、その時には意見や苦情、要望や不満などを聞く機会を設けています。運営推進会議にも家族の参加を得ています。また面会時には職員から話しかけるようにして、状況を伝えています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の自治会に加入しています。地域のボランティアが運営するふれあい喫茶店へは月1回7~8名が参加して、モーニングサービスやそこで近所の友達に会って会話を楽しんだりしています。地域の盆踊りに参加し汗だくになって踊ったり、職員もお祭りのスタッフとして焼きそばを作ったりと地域との交流があります。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「私たちは、利用者様を人としてその人らしい生活を支援いたします。家庭生活の延長を心掛けた雰囲気の中で、その人らしく過ごしていただき、また住み慣れた街で心ふれあうシルバーライフを送っていただくために、私達は利用者さんの生活・生き方を精一杯支援いたします。」を理念として掲げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念と基本方針「モットー 利用者様に笑顔を、地域に憩いを！利用者様の喜びこそ、私達の誠の支援であり、喜びであります。そして、地域の方々が、この施設は『私達の憩いの場』として集っていただいてこそ地域に密着した施設であると思っております。」をポケットサイズの紙に記載して全職員が常に携帯し、確認しています。月1回の会議の場においても、理念について話し合いの機会を持っています。ホーム内には職員が日常的に目にする場所に掲示されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	<p>○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている</p>	<p>地域の自治会に加入しています。地域のボランティアが運営するふれあい喫茶店へは月1回7～8名参加して、モーニングサービスやそこで近所の友達に出会って会話を楽しんだりしています。地域の盆踊りに参加し汗だくになって踊ったり、職員はお祭りのスタッフとして焼きそばを作ったりと交流があります。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>サービス評価の意義や目的を会議で共有し、外部評価の結果は来訪した家族が閲覧できるように掲示しています。また、改善に向けて話し合い、具体的に改良されていました。自己評価については、ユニットごとの話し合いの場で取り上げて、具体的な内容についても意見を交換しています。管理者とリーダー2名とで作成して全職員に伝えています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の規定を作成し、運営推進会議は月2回開催しています。会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めるとともに、事業所の取り組みの課題を職員間でも話し合っています。また、会議の構成メンバーにホームを見学してもらい、利用者の様子やサービス状況をみてもらう機会を設けています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センターより参加を得て、会議で事故報告を行うとともに交流を深めています。ボランティアの募集について相談にのってもらったり、行政の依頼で看護実習生を受け入れたりしており、今後とも行政との積極的な関わりが期待されます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「ケアヴィレッジ便り」を発行し、各部署の主な行事紹介やリハビリのツボをシリーズで掲載するなどしています。また毎月、利用者の方々の暮らしぶりや健康状態については「ナイスホーム通信」を発行しています。その際、職員からの手紙を添え、写真も送っています。金銭管理についても出納帳に領収書を付け、家族に渡すと同時にサインももらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの各階入口に意見箱を設置していません。家族の参加のもと毎年忘年会を実施し、その時には意見や苦情、要望や不満などを聞く機会を設けています。運営推進会議にも家族の参加を得ています。面会時には職員から話しかけるようにして、状況を伝えています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職を最小限抑えるように努めています。また、引継ぎについてはマニュアルに基づき対応しています。新しい職員が入るときは、お便りにて家族にも紹介しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回、第4金曜日には法人内の他事業所と合同で研修会を実施しています。年間計画をたて、接遇について、尊厳とプライバシー、理念、法令について、また認知症については事例発表も行い、欠席者に対しても研修記録をフィードバックしています。今後の予定としてリスクマネジメントや感染症、終末期ケアについて計画されています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会やネットワーク委員会に加入し、参加しています。協議会で行われる研修会や情報の提供を参考に、サービスの向上に生かしています。西区では同業者がなく、今後は近隣区にあるグループホームとの交流や相互訪問などを考えています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に至るまでに同事業所内のショートステイやデイサービスを利用して、スムーズに馴染まれるよう配慮しています。また、体験入居で1週間宿泊していただけるような機会を作り、家族・利用者とも納得していただけるように努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意なことを探して、ご飯の盛り付けや野菜を刻んでもらったりしています。編み物の好きな方には毛糸を提供して教えてもらったりしています。歌の大好きな方にはその機会を用意して実力を発揮してもらい、屋上の野菜の水やりや洗濯物干し、買い物等楽しんでもらえるよう支援しています。屋上のスペースを利用した菜園があり、利用者と一緒に野菜を育てながら、コミュニケーションを図っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、利用者の希望や意向の把握に努めています。意思疎通の困難な方には、家族や関係者から情報を得て、入居に至るまでの様子について詳しく記述しています。今後は、さらにアセスメントシートを充実させ、職員間で情報を共有することが期待されます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員による全体会議において介護計画が作成され、利用者や家族の意見を取り入れて反映させています。また、アセスメントシートに利用者の生活歴、ライフスタイルについても記載しており、望まれる生活を取り入れています。介護計画書には、利用者や家族による同意のサインを得ていますが、説明日の記載がありません。今後は同意のサインとともに日付の記入することが期待されます。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、定期的には6ヶ月毎に実施しており、状態の変化が生じた場合は、その都度見直しを行うと共に、変化に応じた介護計画を作成しています。モニタリングを実施した日や見直しを行った日等、日付の記載もれがみられますので、徹底が望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	38	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	行きつけの病院への受診に、 利用者の家族が付き添えない 時には支援をしています。また、 介護の相談がある場合には施 設長が対応し、助言をしていま す。また、同法人のデイサービ スの催しがある場合には、ホー ムの利用者も参加し、デイサー ビスの利用者と交流を図ってい ます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	週に1回内科・歯科の往診が あります。徒歩圏内にクリニック (眼科、皮膚科、整形外科等) があり、適宜通院支援してい ます。かかりつけ医に受診の時 も支援しています。また、医 療連携体制も整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針 の共有 重度化した場合や終末期のあり 方について、できるだけ早い段 階から本人や家族等ならびにか かりつけ医等と繰り返し話し 合い、全員で方針を共有してい る	終末期や重度化した場合の対 応については、医師、看護師、 介護職員、家族と共に話し合 い、意見を確認しながら支援 方針を決定し、情報の共有も 行っています。終末期の利用に ついては看取りの指針を作成、 相談に応じています。看取り については家族にも協力して もらい、24時間の見守りを行 ったこともあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングを通して意識の向上に努めるとともに、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけ、誇りやプライバシーには注意を払っています。個人情報保護に関する規定も職員に書面で徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し、急がずことなく支援しています。事業所としての日課はありますが、利用者の意向に合わせて支援し、見守ることにしています。気候や利用者の状態を確認しながら、常に臨機応変に取り組みんでいます。毎朝新聞を取りに行ったり、買い物に出かけたりと役割分担をして楽しめるよう工夫しています。食事作りを楽しめる低めの配膳台も用意されています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は3食ともホームで調理し、できたての食事を提供しています。利用者は皮をむいたり、豆のスジを取ったりするなど得意なことを手伝っています。また、屋上菜園で収穫したタマネギをお味噌汁に入れて味わっていました。食後は利用者が食器を運んで片付けていました。献立については利用者の希望を取り入れて旬のものを調理しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	バイタルチェックを行い、体調に合わせて入浴の支援をしています。1日おきの入浴を支援し、季節に応じてゆず湯、菖蒲湯などを提供して楽しんでもらっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることを大切に、花壇の手入れや野菜作り、調理の手伝いを共に行っています。歌の好きな方にはカラオケを楽しんでもらったり書道の好きな方には書いてもらう場面を提供し、洗濯物を干したりたたんだり、とそれぞれ活躍の機会があります。五目並べや将棋をしたりして楽しめる利用者もいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出表を作成して、利用者全員が外出の機会を得られるよう工夫しています。ほぼ毎日商店街へ朝食のパンを受け取りに行ったり、食材を買いに出かけたりしています。造幣局の桜の通り抜けにも電車に乗って出かけ、観桜しました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けない取り組みをしており、エレベーターも自由に使用できるようにしています。5～6階のホーム入口にはチャイムが鳴り、職員は常に利用者の所在を確認しています。エレベーターで1階に降りられた場合でも、事務所の職員が確認し、対応しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	複合的介護施設として防火訓練には、消防署立会いのもと年2回の消防訓練実施と、消火訓練や研修に参加しています。また、近隣には協力要請をお願いしています。非常災害時の備蓄としての食料品と水の備蓄については特別な対応はなく今後準備される状況です。	○	非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成し、備蓄をすることが求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量について毎回確認し記録をしています。水分摂取量については、毎回食事の折やティータイムの時に水分補給に気をつけ脱水予防に努め、記録をしています。栄養バランスについては、施設の栄養士のアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの各ユニットの玄関入り口には植木や利用者の方々の作品が飾られて、手作りの表札も掲げられています。全室バリアフリーとなっていて、車椅子対応のトイレも用意されています。リビングに畳のスペースもあり、足を投げ出してくつろげるよう和室の雰囲気醸し出しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各自、自宅からカーテン、ベッド、テレビ、仏壇、タンス、冷蔵庫などを持ち込み、自分の部屋らしくされています。習字や編み物などの作品を飾り、利用者にとって落ち着いた雰囲気作りとなっています。各部屋にクローゼットと洗面所、ベランダがあり、風通し良く工夫されています。		